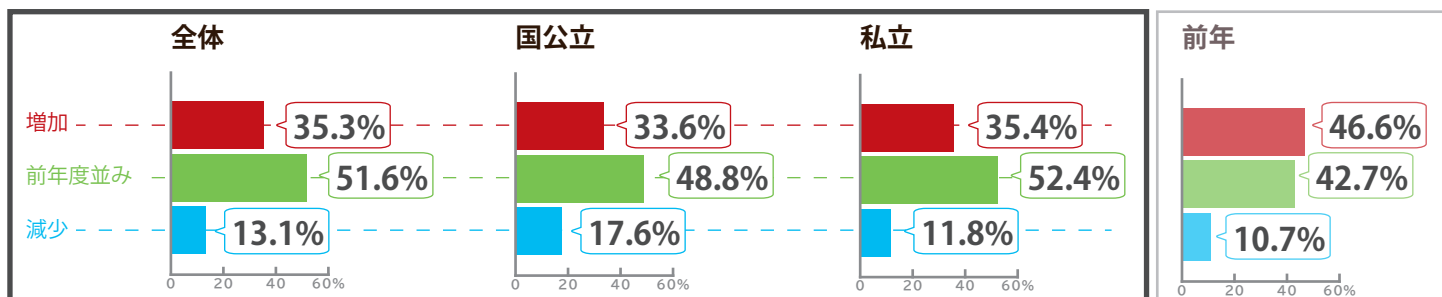


2019 年度 <20 年卒>

キャリア・就職支援への取り組み調査



求人（票）の受付社数の増減

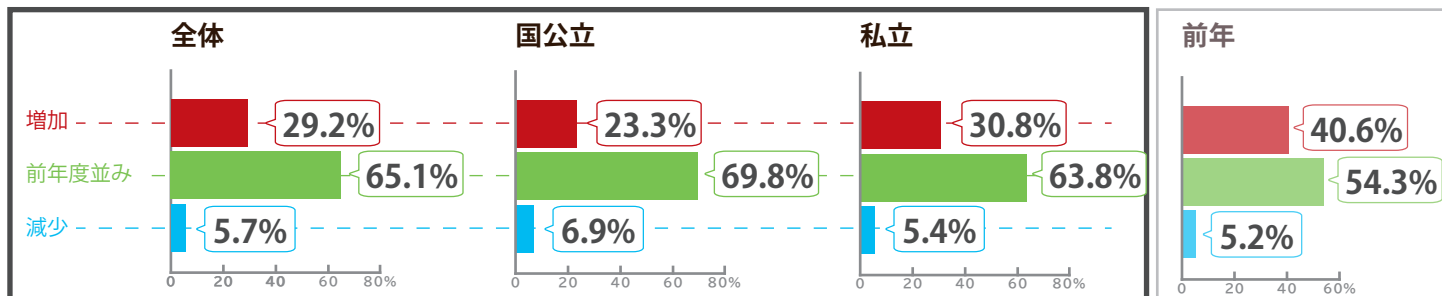


求人（票）の受付延べ件数

2020 年卒の	全体	国公立	私立
件数平均	6,195	5,933	6,277

2019 年卒の	全体	国公立	私立
件数平均	7,055	6,653	7,174

人事担当者がキャリアセンターに求人を持参した社数



今後の就職支援について



・九州 私立

就活のルールがどのようになっても、企業が求める学生像はあまり変わらないと考える。「自分で考え、行動に移すことができる学生」など。大学が出来ることは、自分の可能性を信じ、学生時代にしかできない経験をたくさん積み、その経験を社会で活かすことができる学生をより多く、育てることだと考える。そのために就職支援担当者も社会の流れに気を配りながら、学生を導くというよりは、背中を押してあげるような支援が必要になってくる。

・関東 私立

就職活動の多様化ばかり着目されがちですが、卒業後の進路、学生個々のキャリアパスを考えさせられる中に、企業への就職が一つの選択肢であり、大学卒業後から緩やかに自身のキャリアを構築する場や機会があってもよいと考えています。今の就職活動はあまりに企業本位で採用スケジュールの形骸化と撤廃もその一つです。本学では就職支援だけでなく、大きな意味で卒業後のキャリア支援を考えていく方針です。